

川崎市商店街等緊急支援補助事業金の活用事例

コロナ禍からの再起を図るため、市内の商店街では様々な取組を進めています。
令和2年度に補助事業を活用した取組の一部を御紹介します。

感染予防の啓発

【川崎区】

川崎大師仲見世通会

加盟店とお客様に対して感染予防対策を実施することで、安心・安全な商店街であることをPRした。

- ・各店舗への消毒液の設置
- ・フェイスシールド、マスクの配布
- ・啓発用チラシの配布と掲示



商店街活動のPR

【幸区】

川崎南河原銀座商店会

お客様が注文した品物を新聞配達員が自宅まで届ける「Happy-Roadお助け隊」の認知度を上げるため、協力店にQRコード付きポスターを掲示した。



スマホ活用のスタンプラリー

【中原区】

モトスミ・プレーメン通り商店街振興組合

これまで紙の台紙で実施していたスタンプラリーをスマホのアプリで行うことにより、店舗での接触を減らし、感染予防とイベント実施を両立させた。
※オズ通り商店街との共催



じもと応援券利用店舗紹介

【宮前区】

さくら坂商店街

川崎じもと応援券ガイドブック「みやまえ」を発行し、加盟店を中心にお店を紹介。商店街のホームページでもガイドブックの内容と地図情報も掲載した。



継続的な広報宣伝活動

【多摩区】

長沢商店会

地域の商店を知ってもらうため、4月から12月にかけて毎月1～2回程度継続的に新聞の折込チラシを作成した。



テイクアウト・デリバリーマップ

【麻生区】

麻生区商店街連合会

テイクアウトやデリバリーを行っている加盟店の情報を集めて、マップにして地域の住民に配布した。

